

要望書

道路は地方の自立と活性化、また安心して暮らせる社会を実現するため、地域の住民が求める最も基本的な社会資本であり、「いのちの道」そのものであります。今、政府においては、公共事業費の削減、見直しが行われておりますが、「必要な道路の整備」は住民・道路利用者の切実なる願いであります。

この事にご理解をいただき、特段の配慮がなされますよう、次の事項について要望いたします。

一、高速道路から生活道路まで、バランスのとれた道路ネットワークの整備や、渋滞解消、踏切対策、交通事故対策等、利用者が求める道路の整備を着実に進めていただきたい。

一、現在の地域活力基盤創造交付金（前・地方道路整備臨時交付金）を継続し、道路整備の充実をお願いしたい。

一、現在、建設中の道路は建設を中止することなく、計画通りに進めていただきたい。

一、費用対効果（B/C）に救急医療や災害対策、地域振興の要素等を加えて、より生活の現状と将来像に即した指標をもって、算定していただきたい。

一、高速道路を無料化する場合は、渋滞対策を講じると共に、維持管理を充実して、安心と安全を確保していただきたい。

一、道路利用者の意見を反映した道路整備を進めていただきたい。

平成二十一年十月十五日